

**共感が生んだローカルメディアのつながり  
～3.11 を契機とした県境を越えたネットワーク～**

東日本大震災から 5 年以上経過し、東北地域の復興も思うように進んでいない中で、今年の 4 月以降、熊本県を中心とした九州では大地震が発生しています。地域の災害に対する備えや広域的な地域ぐるみの支援が益々高まっています。

こうした中、本地域を拠点とする「エフエム豊橋」は、東日本大震災を契機として、ボランティア等に参加を呼びかけ、地域企業や住民から義援金を募集した東北復興ツアー等の支援活動を展開し、今も東北地域の臨時災害放送局や自治体、漁協、市民団体等との繋がりが継続しています。

今回のシンポジウムでは、遠く離れた県境を越えた地域との繋がりでローカルメディアが架け橋になった経緯、お互いの心の結びつきや「共感」を生んだ行動に着目し、ローカルメディアだからできる連携、ローカルとローカルの繋がりについて考えます。

- 1. 日 時 平成 28 年 10 月 29 日 (土) 午後 1 時 15 分～午後 3 時 45 分
- 2. 場 所 愛知大学 豊橋キャンパス 記念会館 3 F 小講堂  
(住所：豊橋市町畑町 1-1)
- 3. パネルディスカッション
  - コーディネーター  
戸田敏行氏 愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 愛知大学教授
  - パネリスト  
吉田 圭氏 特定非営利活動法人エフエムあおぞら 理事長 (宮城県亘理町)  
森 憲一氏 宮城県山元町 教育長 (宮城県山元町)  
森 包義氏 (株)エフエム豊橋 代表取締役社長  
前川 緑氏 (株)エフエム豊橋 ラジオパーソナリティ  
西村なぎさ氏 (株)エフエム豊橋 ラジオパーソナリティ
- 4. 参加費 無 料
- 5. 後 援 東三河広域連合、(株)エフエム豊橋、特定非営利活動法人エフエムあおぞら、豊橋ケーブルネットワーク(株)、東三河懇話会

◆出欠のご連絡を 10 月 24 日 (月) までに FAX もしくは E-mail にてお送り下さい。

\*\*\*\*\*

公益社団法人 東三河地域研究センター 行 FAX:0532-57-3780 E-mail:webmaster@hrrc.jp  
共同シンポジウム 出欠票

ご出席                      ご欠席

お問合せ(公社)東三河地域研究センター 住所 愛知県豊橋市駅前大通二丁目 46 番地 TEL 0532-21-6647

団体名・会社名		
ご所属・お役職名		
お名前		
連絡先	T E L F A X E-Mail	T E L F A X E-Mail